



アルミ・銅事業部門

売上高

+16.1%

3,040億円

経常利益

+563.8%

147億円

経常利益率

+4.0 points

4.9%

2010年度の概況

アルミ圧延品の販売数量やアルミ鋳鍛造品の売上高は、自動車、エアコン向けや液晶・半導体製造装置関連を中心に需要が堅調に推移したことから、2009年度を上回りました。

銅圧延品の販売量は、板条の需要は第3四半期に入り半導体向けを中心とした需要家の在庫調整により減少しましたが、2010年度を通しては堅調に推移し、銅管の需要は猛暑によりエアコン向けが増加したことから、2009年度を上回りました。

このような状況に加えて、販売価格に転嫁される地金価格が上昇したことから、2010年度の売上高は2009年度比16.1%増の3,040億円となり、経常利益は、2009年度に比べ125億円増益の147億円となりました。

	億円		増減率
	2009年度	2010年度	
売上高	2,617	3,040	+16.1%
経常利益	22	147	+563.8%

TOPICS

「Aluminum China」(アジア最大のアルミニウム産業展)に出展

2010年6月、中国上海市で開催された「Aluminum China」(上海アルミ工業展)に出展しました。「Aluminum China」はアジア最大規模のアルミニウム産業展で、今回で6回目となり、出展者数は約30ヵ国320社、来場者数は開催の3日間で約10,000人となりました。当事業は自動車分野、IT関連、航空機分野におけるオンリーワン製品・技術を中心に出展し、多数の来場者から多くの関心が寄せられました。

